

移動等円滑化取組計画書

2019年 12月 27日

住 所 沖縄県那覇市鏡水 150
事業者名 那覇空港ビルディング(株)
代表者名（役職名及び氏名） 代表取締役社長 安里昌利

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 旅客施設の整備に関する事項

那覇空港ターミナルビルは、移動円滑化基準に適合しており法的な基準はクリアしているが、今後も各バリアフリー関連法令を遵守し、より高い水準を視野に法令改正等に適宜対応しながら、設備の更新や改修、各種サービスを検討する。具体的には国内線エリア一般トイレのUD化及び多目的トイレの増設などに取り組む。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

バリアフリースターセンターとの意見交換の仕組みづくりや、UD診断を受けそれから抽出される課題の整理・解決を図りながら、旅客支援に有効な情報提供を検討していく。また、関係者へのバリアフリー関連教育を強化し、社内のバリアフリーに対する意識も向上させていきたい。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
国内線エリア 一般トイレUD化	・どのような利用者にも快適に利用していただけるよう、国内線エリアのトイレのUD化を図る。
国内線エリア 多目的トイレ増設	・現在2か所のみとなっている多目的トイレの増設について検討を行う。

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
国内線エリア 館内案内サイン表示の更新	・案内サインをLED化するとともに、表示内容を更新しよりわかりやすいものとし、弱視者にとっても見やすいものとする。
各種案内板の追加	・設置個所の追加と変更を実施し動線に応じた設置を実施する。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バリアフリーツアーセンターとの連携	・那覇空港内に設置されている NPO 法人バリアフリーツアーセンターとの連携を深め、適切な情報収集および提供に努める。

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ユニバーサルデザイン関連の研修への参加	・行政等が開催する各種ユニバーサルデザインやバリアフリーに関する研修会へ参加し、情報収集を行い社内にて共有する。
資格の取得等	・インフォメーションスタッフ等、バリアフリー関連の研修受講並びに資格取得を検討する。

Ⅲ 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者との意見交換の仕組み作りを行う。 ・専門家による UD 診断評価を受け、課題の再認識をしながら適宜対応を実施する。
--

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

V その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。